

5 歯科疾患について

(1) むし歯(う歯)について

ア むし歯(う歯)被患率について (表 3、図 12、図 13、図 14)

むし歯(う歯)被患率とは、むし歯(治療済みのむし歯を含む。)のある者の割合である。本年度のむし歯被患率は、小学校 45.8%、中学校 40.7%、高等学校 53.7%であり、経年的には減少傾向が続いている。

小学校及び中学校における、永久歯のむし歯(う歯)のある者の率も、年々減少している。また、むし歯(う歯)被患率を年齢別にみると、17 歳が 58.1%と最も高くなっている。また、処置完了者の割合は、7 歳以降未処置歯のある者の割合を上回っている。

なお、むし歯(う歯)被患率は永久歯だけでなく、乳歯も合わせて集計している。図 13 にて 11 歳の段階で被患率が減少するのは、乳歯から永久歯への生え変わりの影響によるものと考えられる。また、小学校の地域別のむし歯(う歯)被患率を図 14 に、中学校の地域別のむし歯(う歯)被患率を図 15 にそれぞれ示す。

表 3 むし歯(う歯)被患率の年次推移

年度 (平成)	小学校			中学校			高等学校		
	合 計	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子
9	80.21	80.13	80.30	82.60	80.52	84.95	88.82	87.42	90.32
10	77.94	78.06	77.81	81.07	78.94	83.45	88.46	86.97	90.03
11	75.68	75.79	75.57	79.04	76.74	81.59	86.86	84.82	88.97
12	72.59	72.89	72.26	75.18	72.56	78.11	83.38	81.57	85.24
13	70.01	70.59	69.40	72.13	69.37	75.18	82.62	80.78	84.46
14	68.26	68.79	67.70	69.28	67.16	71.61	80.44	79.00	81.87
15	66.32	67.06	65.54	65.48	62.93	68.29	78.75	76.35	81.12
16	64.30	65.00	63.55	63.51	61.17	66.09	74.76	73.01	76.50
17	62.74	63.61	61.81	61.24	58.78	63.96	73.25	70.61	75.87
18	61.07	62.12	59.94	59.22	56.90	61.79	69.26	66.54	71.92
19	59.48	60.81	58.06	56.94	54.55	59.58	66.41	64.30	68.45
20	57.28	58.74	55.73	54.68	52.15	57.48	63.87	61.47	66.25
21	55.31	56.69	53.83	52.31	49.95	54.92	61.19	59.23	63.11
22	52.59	54.04	51.05	49.92	47.39	52.70	60.02	57.54	62.44
23	51.17	52.55	49.70	48.24	46.01	50.70	58.67	56.44	60.83
24	49.31	50.61	47.91	45.82	43.99	47.84	57.93	55.66	60.11
25	47.86	49.27	46.36	43.07	41.19	45.14	55.31	53.12	57.43
26	45.81	47.06	44.47	40.69	38.80	42.76	53.68	51.37	55.94

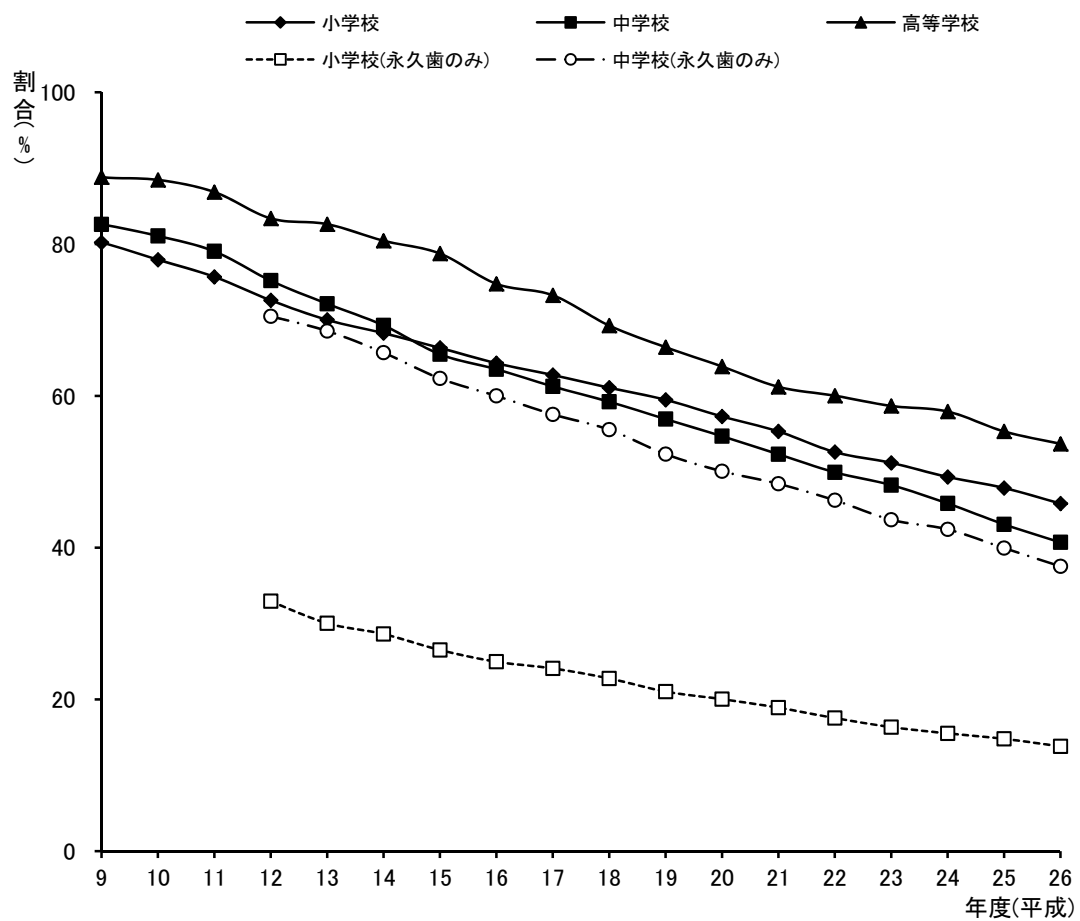


図 12 むし歯(う歯)被患率の年次推移

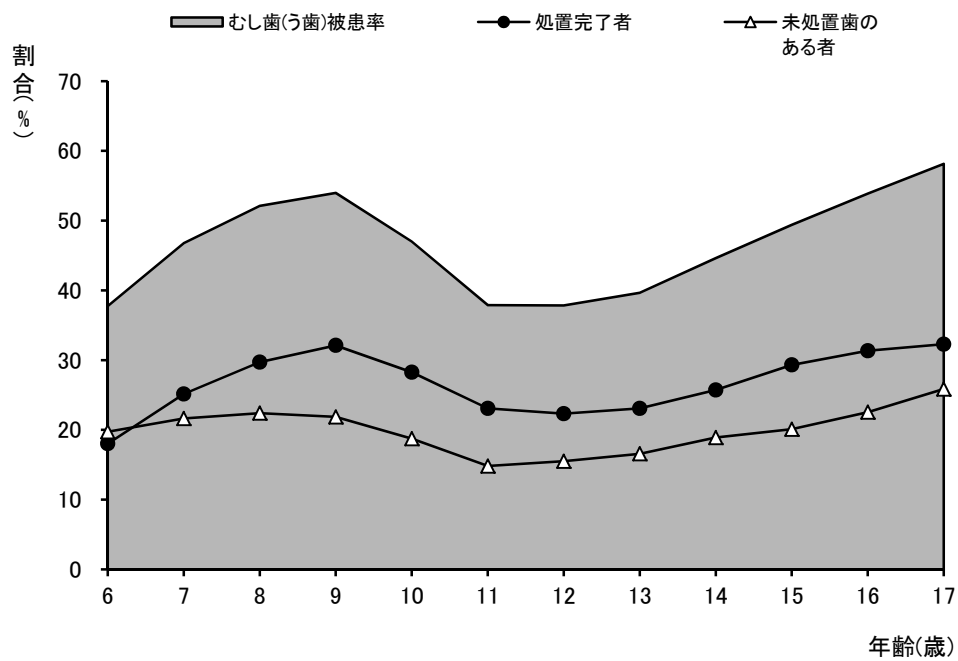


図 13 年齢別むし歯(う歯)被患率

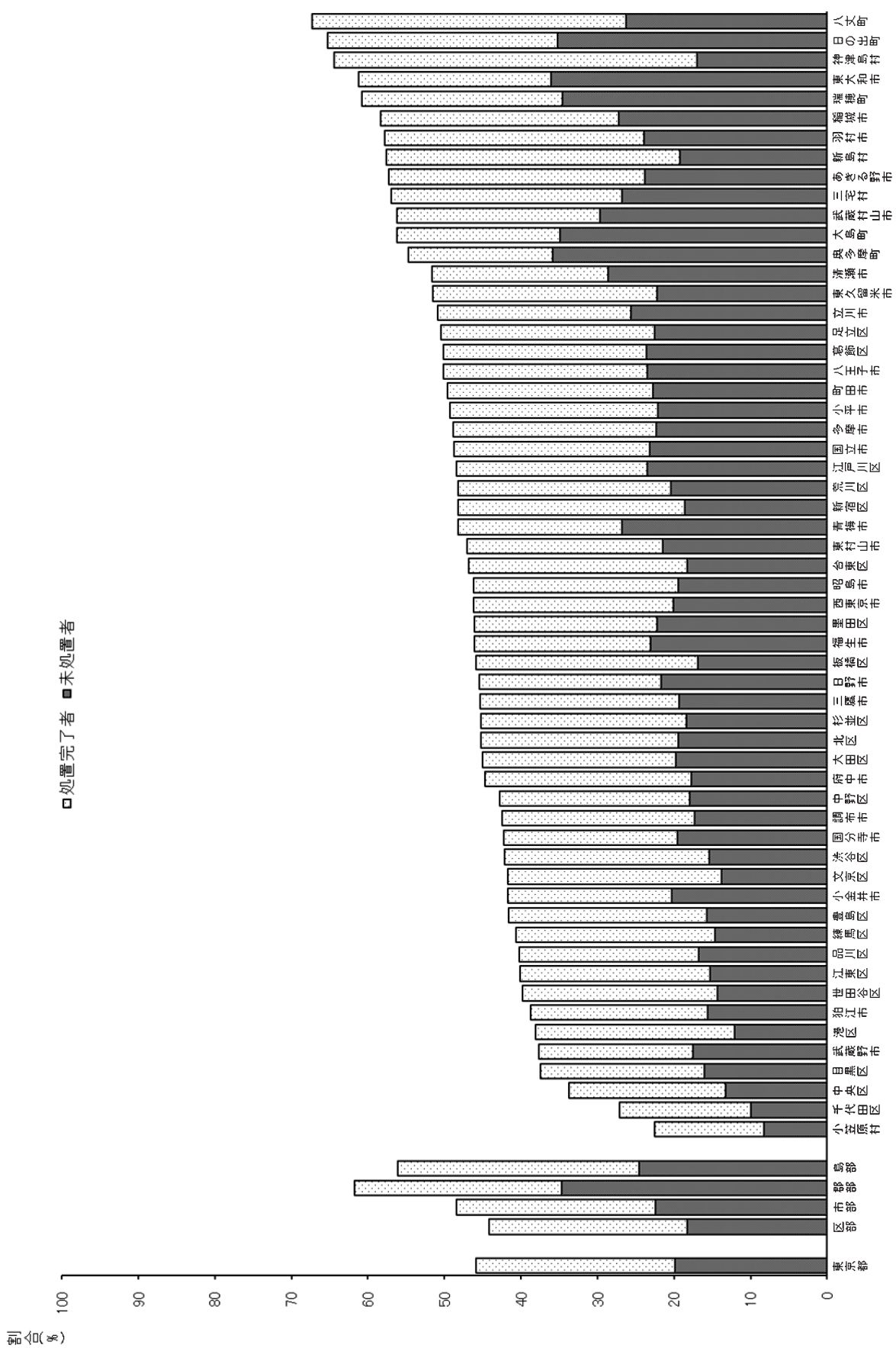


図14 地域別むし歯罹患率(小学生)

(注)船原村、利島村、御蔵島村、青ヶ島村は歯科受診者が60名以下のため省略

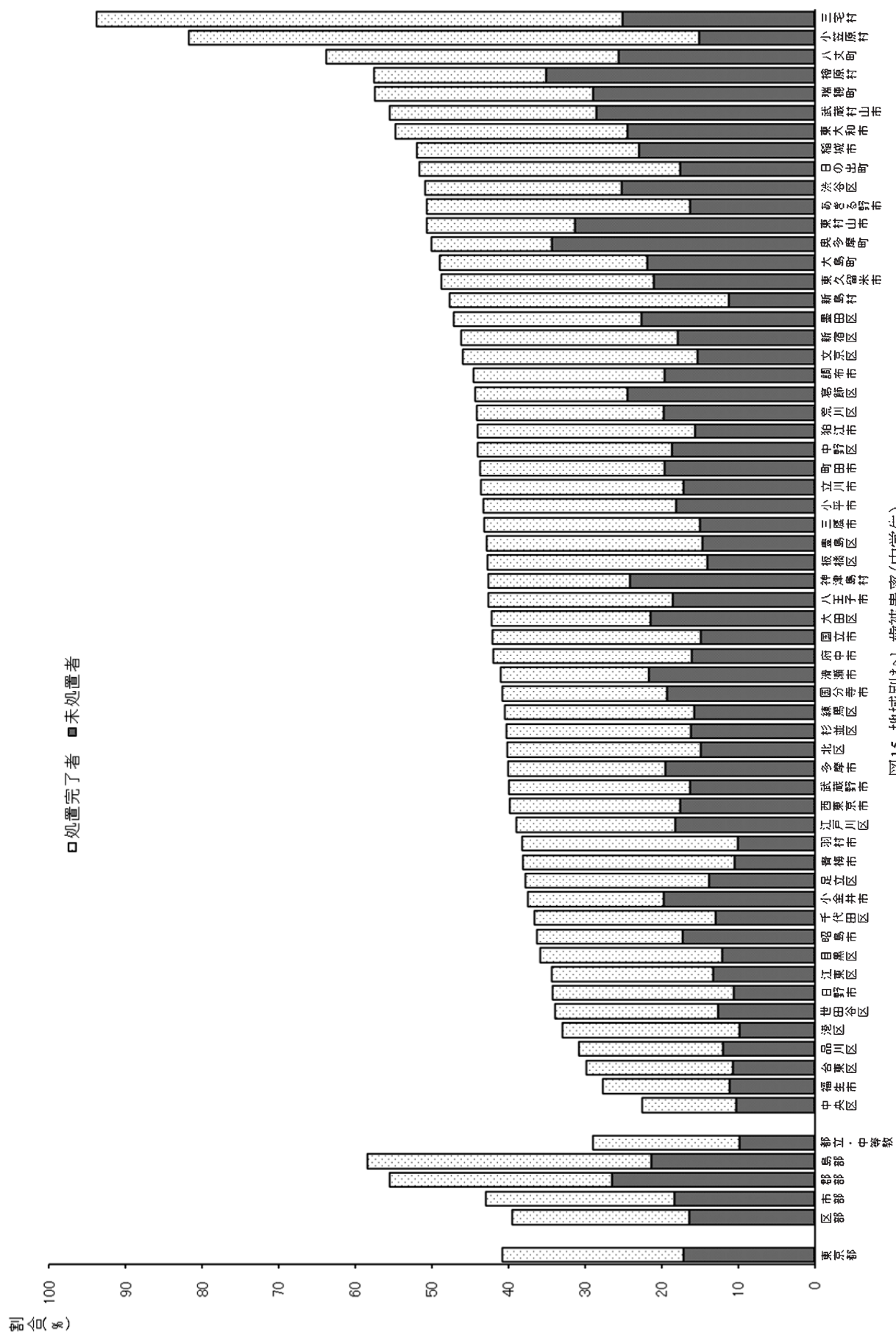


図15 地域別むし歯被患率(中学3)

(注)利島村、御蔵島村、青ヶ島村は歯科受診者が30名以下のため省略

イ 小学校第 6 学年児童、中学校第 1 学年生徒の永久歯の一人平均むし歯(う歯)経験歯数(DMFT 指数)について(表 4、図 16-1、16-2、図 17)

DMFT 指数の年次推移を表 4、及び図 16-1、16-2 に示す。本年度の小学校第 6 学年児童(11 歳)及び中学校第 1 学年生徒(12 歳)の DMFT 指数の都平均は、それぞれ 0.56、0.88 となっている。小学校第 6 学年、中学校第 1 学年、いずれにおいても減少傾向が続いている。

DMFT 指数は、小学校第 6 学年、中学校第 1 学年、いずれにおいても、男子に比較して、女子の方が高くなっている。また、地域別の DMFT 指数(中学校第 1 学年)を図 17 に示す。

表 4 永久歯の DMFT 指数の年次推移(小学校第 6 学年、中学校第 1 学年)

		年 度		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
小学校 第 6 学年	総数	DMFT 指数		2.05	1.90	1.69	1.57	1.45	1.29	1.18	1.12	1.04	0.97	0.90	0.85	0.76	0.72	0.64	0.61	0.56	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			処置歯数 (F)	1.56	1.44	1.27	1.16	1.07	0.94	0.82	0.77	0.72	0.65	0.62	0.58	0.52	0.50	0.43	0.41	0.38	
			未処置歯数 (D)	0.49	0.46	0.42	0.41	0.38	0.35	0.35	0.35	0.32	0.32	0.28	0.27	0.24	0.22	0.20	0.19	0.18	
	男子	DMFT 指数		1.87	1.72	1.54	1.43	1.34	1.17	1.07	1.03	0.96	0.88	0.81	0.78	0.70	0.67	0.58	0.55	0.51	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			処置歯数 (F)	1.41	1.29	1.14	1.05	1.00	0.85	0.74	0.70	0.66	0.58	0.55	0.52	0.47	0.45	0.39	0.37	0.35	
			未処置歯数 (D)	0.46	0.43	0.40	0.38	0.34	0.32	0.32	0.33	0.30	0.30	0.26	0.26	0.23	0.22	0.19	0.18	0.16	
	女子	DMFT 指数		2.24	2.09	1.87	1.59	1.56	1.42	1.30	1.22	1.15	1.07	0.99	0.93	0.83	0.79	0.70	0.67	0.61	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			処置歯数 (F)	1.72	1.59	1.41	1.14	1.14	1.05	0.91	0.84	0.80	0.72	0.69	0.64	0.58	0.55	0.48	0.46	0.42	
			未処置歯数 (D)	0.52	0.49	0.45	0.45	0.42	0.37	0.38	0.38	0.35	0.35	0.30	0.29	0.25	0.23	0.22	0.20	0.19	
中学校 第 1 学年	総数	DMFT 指数		2.83	2.60	2.40	2.21	2.04	1.89	1.75	1.65	1.56	1.47	1.33	1.26	1.19	1.11	1.03	0.93	0.88	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
			処置歯数 (F)	2.09	1.90	1.73	1.57	1.43	1.31	1.17	1.09	1.01	0.94	0.86	0.82	0.77	0.74	0.68	0.61	0.58	
			未処置歯数 (D)	0.72	0.69	0.65	0.62	0.60	0.57	0.56	0.55	0.54	0.52	0.46	0.43	0.41	0.37	0.34	0.31	0.29	
	男子	DMFT 指数		2.58	2.38	2.16	2.01	1.87	1.71	1.59	1.49	1.42	1.33	1.20	1.13	1.06	1.00	0.94	0.85	0.80	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
			処置歯数 (F)	1.89	1.73	1.54	1.40	1.29	1.16	1.06	0.97	0.90	0.84	0.76	0.72	0.67	0.66	0.61	0.55	0.52	
			未処置歯数 (D)	0.67	0.64	0.61	0.59	0.57	0.54	0.52	0.51	0.51	0.48	0.43	0.40	0.38	0.34	0.32	0.29	0.27	
	女子	DMFT 指数		3.09	2.84	2.65	2.43	2.24	2.09	1.90	1.84	1.72	1.63	1.47	1.40	1.33	1.24	1.13	1.01	0.97	
		むし歯	喪失歯数 (M)	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
			処置歯数 (F)	2.30	2.08	1.94	1.75	1.58	1.47	1.28	1.23	1.13	1.06	0.97	0.93	0.88	0.83	0.76	0.68	0.65	
			未処置歯数 (D)	0.77	0.74	0.69	0.66	0.64	0.60	0.59	0.60	0.58	0.56	0.49	0.46	0.45	0.40	0.35	0.32	0.31	

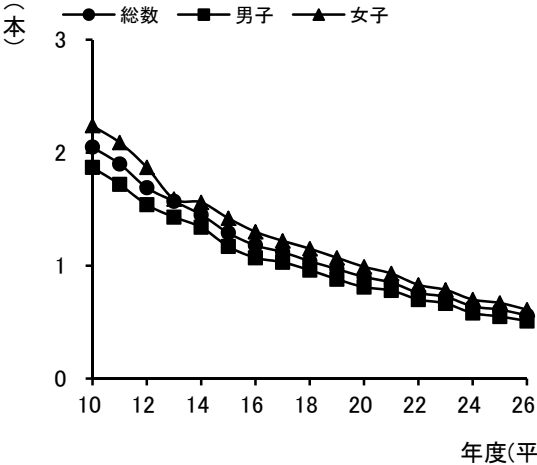


図 16-1 DMFT 指数の年次推移(小学校第 6 学年)

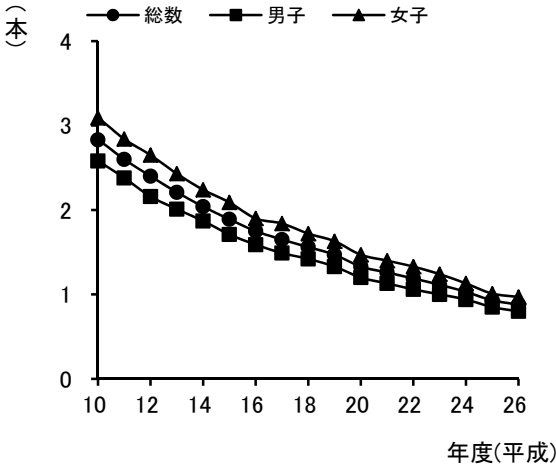


図 16-2 DMFT 指数の年次推移(中学校第 1 学年)

永久歯の一人平均う歯経験歯数(DMFT 指数)の算出方法

DMFT 指数：永久歯のむし歯経験歯が一人当たり何本あるかを示す。

D…decayed：永久歯のむし歯で未処置の歯

M…missing because of decayed：むし歯が原因で失った永久歯

F…filled：永久歯のむし歯で処置を完了した歯

$$DMFT \text{ 指数} = \frac{\text{被検者の DMF 歯の合計}}{\text{被検者数}}$$

(T は Teeth＝歯の略)

(2) 歯肉の状態について (図 18)

歯肉の状態を学年別にみると、歯周疾患及び歯周疾患要観察者の割合は学年が進むにしたがって高くなる傾向がみられる。

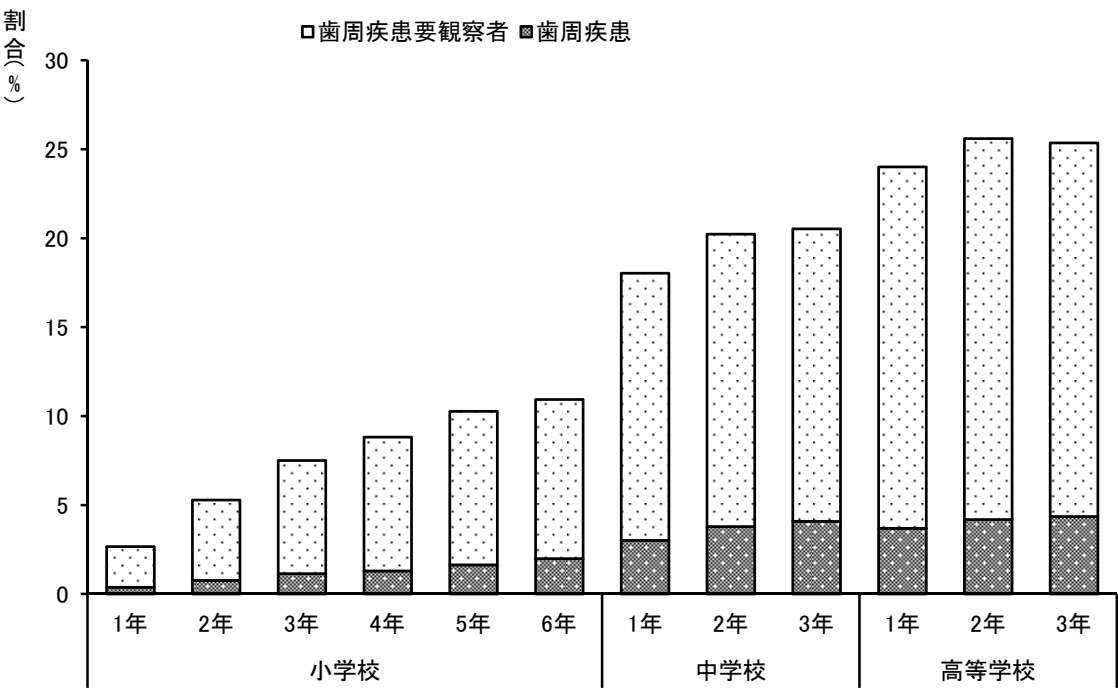


図 18 学年別歯肉の状態